

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2009年10～12月期)

第55回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成21年7～9月との比較）
  - （2）前年同期比（平成20年10～12月との比較）
  - （3）来期見通し（平成22年1～3月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	166社
回答率	33.2%
(業種別)	
製造業	56社
建設業	34社
卸売業	16社
小売業	25社
サービス業	35社
合計	166社

## (2) 実施時期

平成21年10～12月期

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 " ) - (悪化 " )

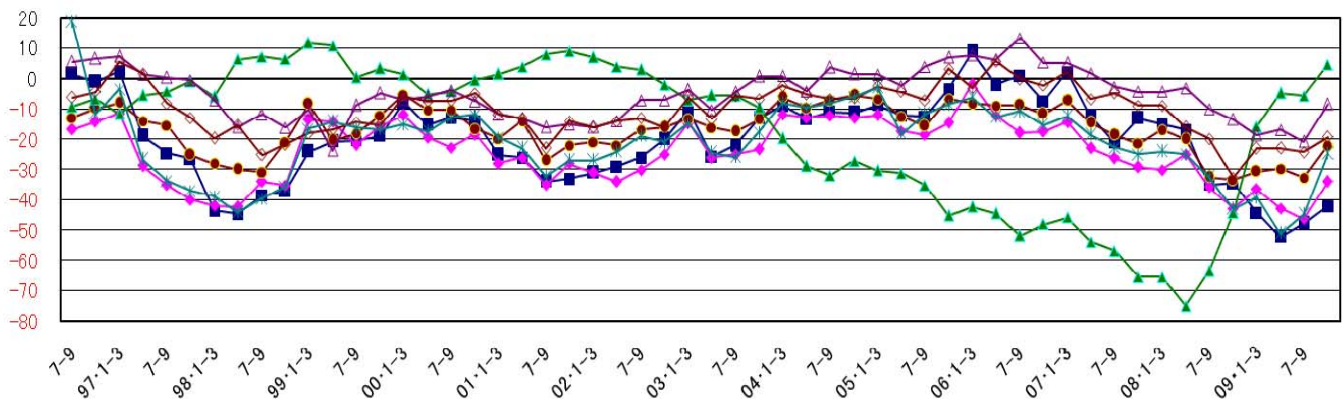
資金繰りD I = (好転 " ) - (悪化 " )

仕入価格D I = (下落 " ) - (上昇 " )

雇用状況D I = (不足 " ) - (過剰 " )

設備投資D I = (拡大 " ) - (減少 " )

業況D I = (好転 " ) - (悪化 " )



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	07/4-6	7-9	10-12	08/1-3	4-6	7-9	10-12	09/1-3	4-6	7-9	10-12
■売上	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3	-17.4	-35.1	-34.5	-44.4	-52.3	-47.9	-42.2
◆採算	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1	-24.5	-35.8	-42.9	-36.4	-42.9	-46.3	-33.9
●資金繰り	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9	-20.0	-32.5	-33.3	-30.6	-29.8	-32.7	-22.0
▲仕入価格	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1	-74.8	-63.6	-44.3	-15.8	-4.6	-5.6	4.6
△雇用状況	1.7	-2.6	-4.2	-3.8	-3.2	-9.9	-13.5	-18.6	-16.9	-20.7	-8.3
◇設備投資	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3	-15.5	-19.9	-32.6	-23.0	-23.0	-24.2	-19.3
*業況	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0	-25.2	-32.5	-43.1	-39.3	-51.2	-44.9	-24.8

### 3. 概況

「一部回復の兆し見られるも消費は依然低迷、先行き未だ不透明」

#### (1) 今期の特徴

今期のD I値は、前期比で「採算」が、プラスに回復し、その他の項目で、前回調査よりもマイナス幅が縮小した。年末需要による季節的要因による影響で業績は上向いた。前年同期比では、「仕入価格」がプラスに回復したものの、「売上」はマイナス幅を拡大し、その他の項目は、マイナス幅がやや縮小した。仕入価格は安定してきたものの長引く消費低迷の影響による売上の伸び悩みが顕著に現れており、本格的な業況回復には至らない状況となっている。

#### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、「採算」「資金繰り」「仕入価格」「雇用状況」「設備投資」「業況」でマイナス幅が縮小の見込みであるものの「売上」のマイナス幅が拡大する模様。

業種別では、建設業で、年度末需要や住宅版エコポイント開始によるリフォーム等の受注増加に一部で期待が持たれる。卸・小売・サービス業では、年度末需要が見込まれるものの、依然として続く消費の低迷による需要悪化が懸念され、先行き見通しは依然厳しい状況となっている。

#### (3) 経営上の問題点

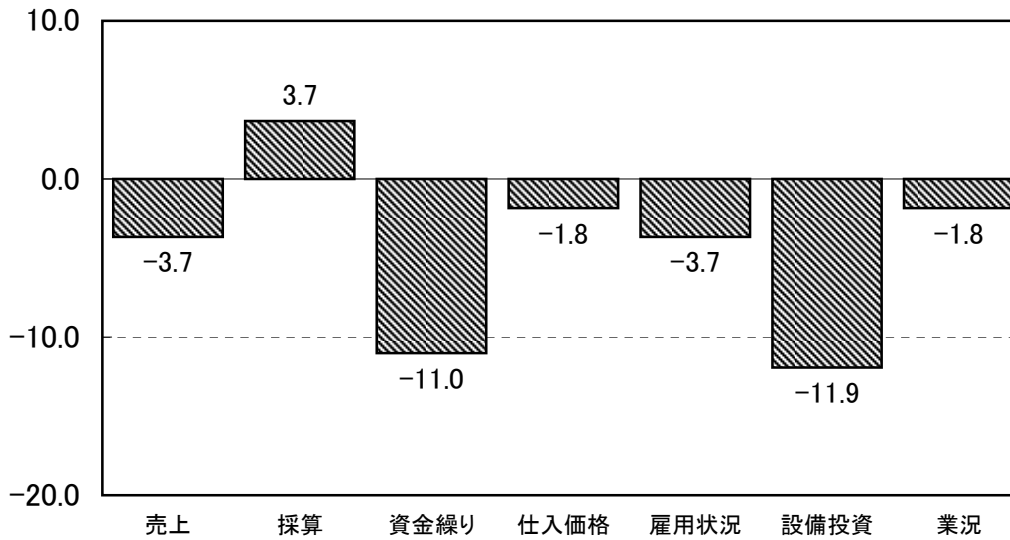
今回の上位順位は、1位に「需要の停滞」をあげる企業が圧倒的に多く、2位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」、3位に「県内大手企業の事業展開による競争の激化」と続いた。

#### (4) 今後の対応策

今回の上位順位は、1位に「新規市場を開拓したい」、2位に「その他の合理化を実施したい」となり、3位には新たに「新製品の開発を行いたい」と続いた。

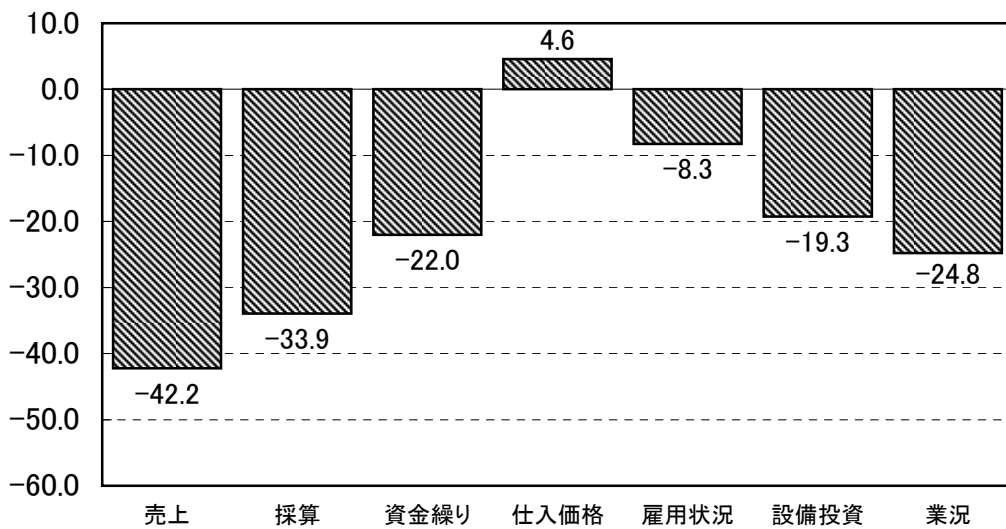
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成21年7～9月比)



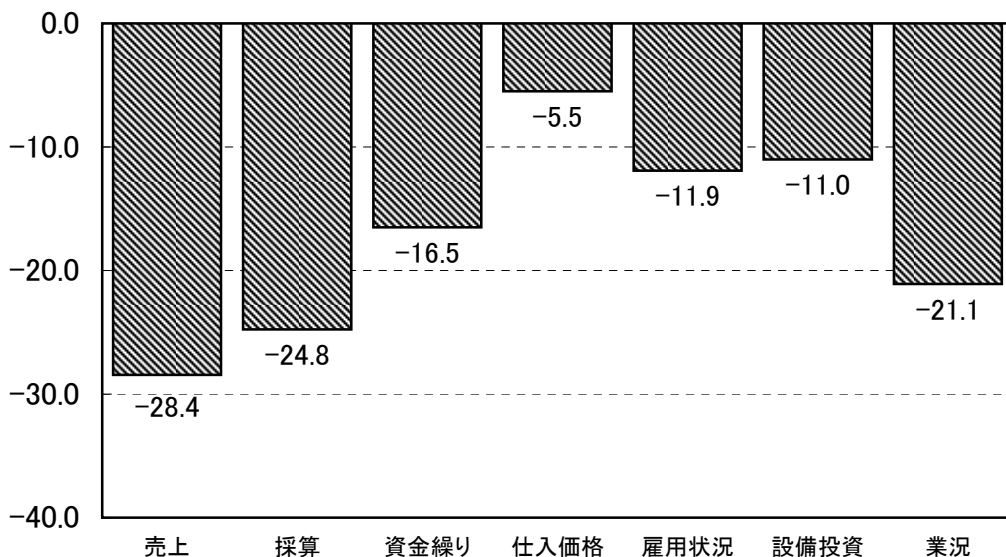
前期比D Iは、前回調査と比較して採算が好転し、その他の項目もマイナス幅が縮小された。年末需要による季節的要因で、業況は改善されたものの、依然消費は低迷しており本格的改善には至っていない。

前年同期比(平成20年10～12月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較して売上がマイナス幅を拡大、その他の項目はややマイナス幅が縮小された。製造業、卸売業で仕入価格の改善が見られるものの、依然として続く消費低迷による需要悪化で経営環境

来期見通し(平成22年1～3月見通し)

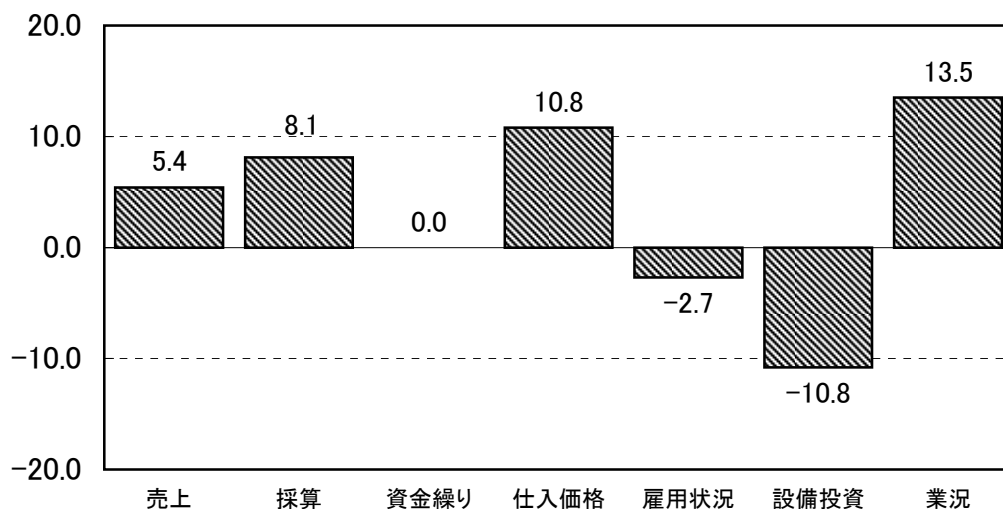


来期見通しD Iは、前回調査と比較してマイナス幅は、ほぼ横ばいとなった。卸・小売・サービス業では年度末需要、建設業では住宅版エコポイント開始による受注増加に期待する声の一部で聞かれるものの、消費回復となる材料は乏しい。

## 5. 業種別の景気動向

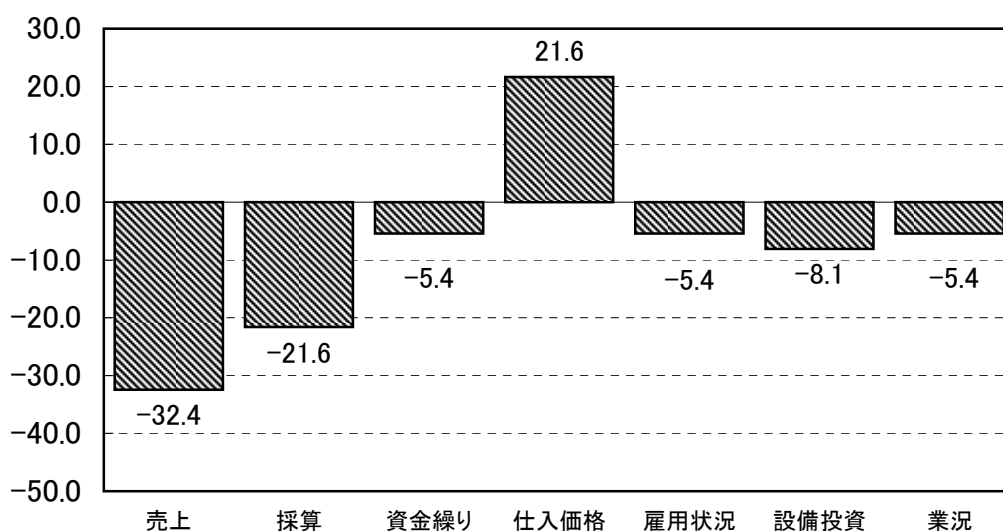
### (1) 製造業

前期比(平成21年7～9月比)



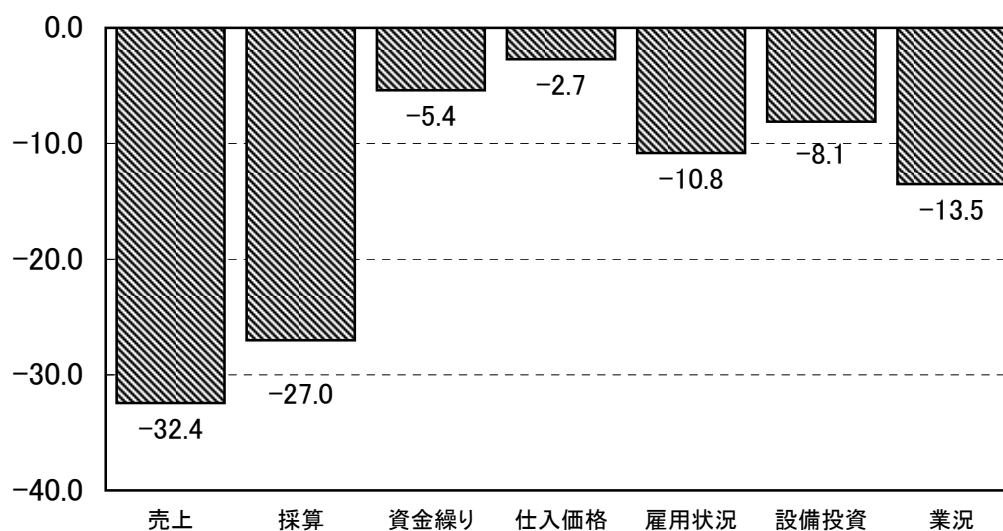
前期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともに大幅に好転した。「国内生産の増加」（輸送機器製造）、「お歳暮ギフト時期による」（食品製造）などの声が聞かれているものの、季節的な要因も

前年同期比(平成20年10～12月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにマイナス幅は縮小した。前年同期の世界同時不況からの回復が一部で見られるものの、依然受注の改善に至っておらず依

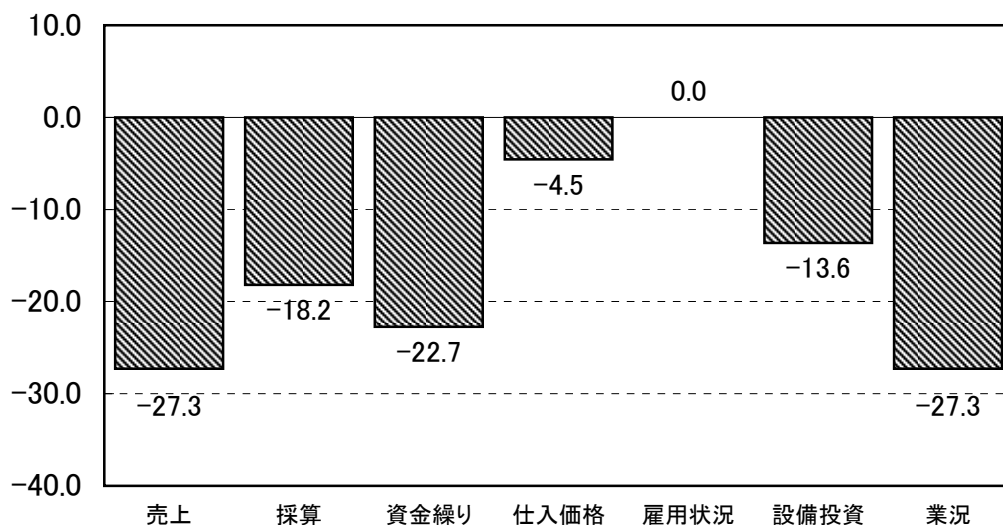
来期見通し(平成22年1～3月見通し)



来期見通しD Iは、前回調査と比較して売上・採算ともにマイナス幅が拡大した。年末需要からの反動、更には需要低迷による受注の悪化が懸念され先行きは、益々厳しい見通しとなっ

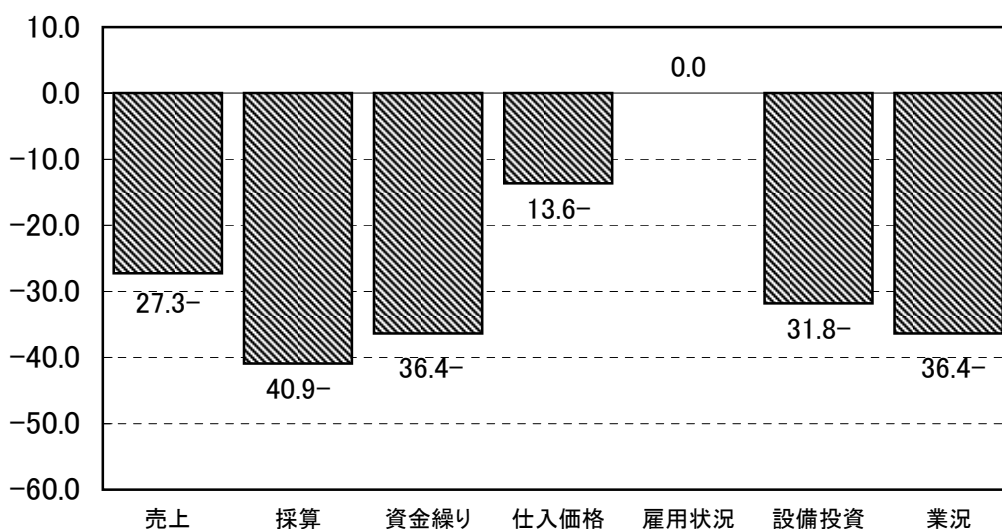
## (2) 建設業

前期比(平成21年7～9月比)



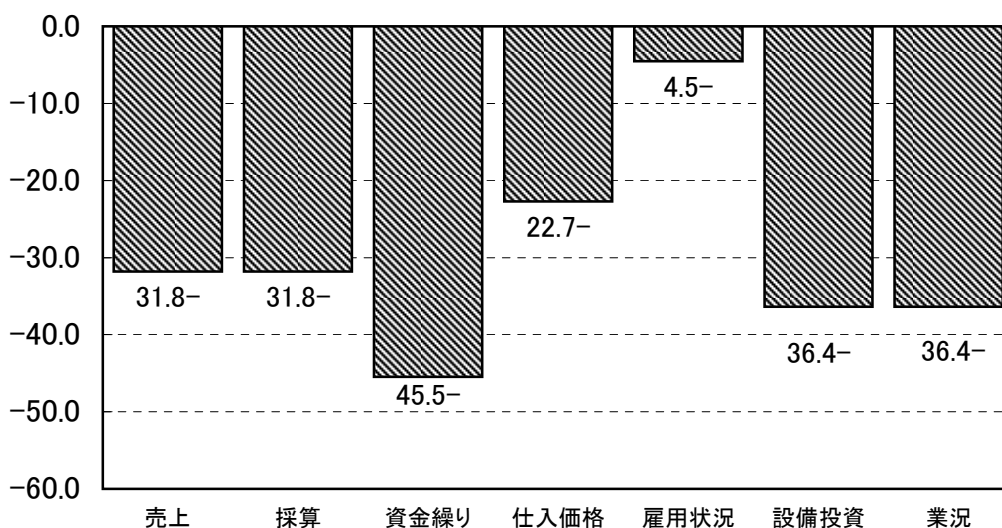
前期比D Iは、前回調査と比較して売上・資金繰り・業況についてマイナス幅が拡大した。工事量の減少、更には受注競争激化に伴う受注単価の悪化により、資金繰りも困難な状況で、

前年同期比(平成20年10～12月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較してほぼ横ばいで推移した。公共工事の減少、更には新築住宅着工件数の減少などの民間工事の受注悪化と競争激化で、依然厳しい経営環境となっ

来期見通し(平成22年1～3月見通し)

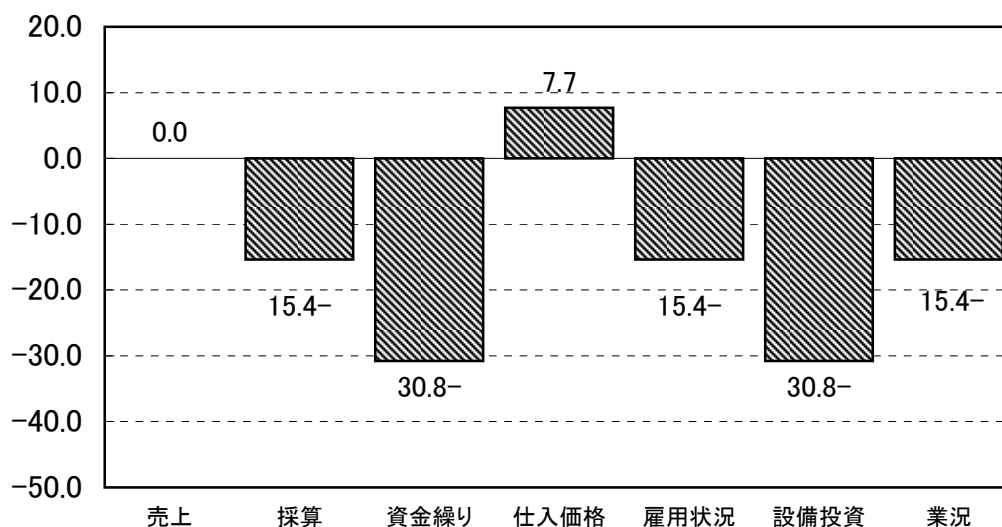


来期見通しD Iは、前回調査と比較して資金繰りのマイナス幅が拡大したものの、ほぼ横ばいとなった。年度末需要、住宅版エコポイントによるリフォーム工事増加を期待する声があるものの、官民工事ともに受注競争の激化が懸念さ



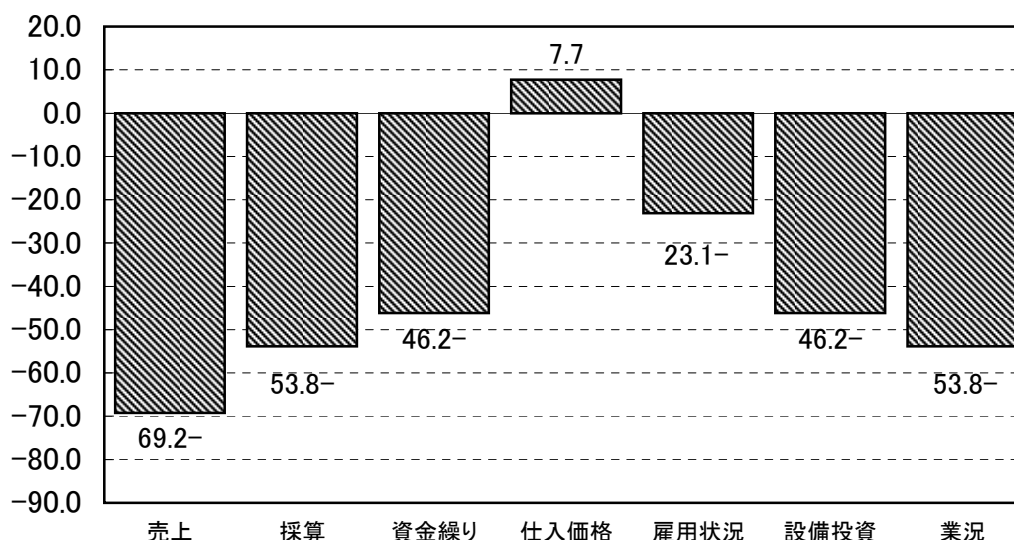
### (3) 卸売業

前期比(平成21年7～9月比)



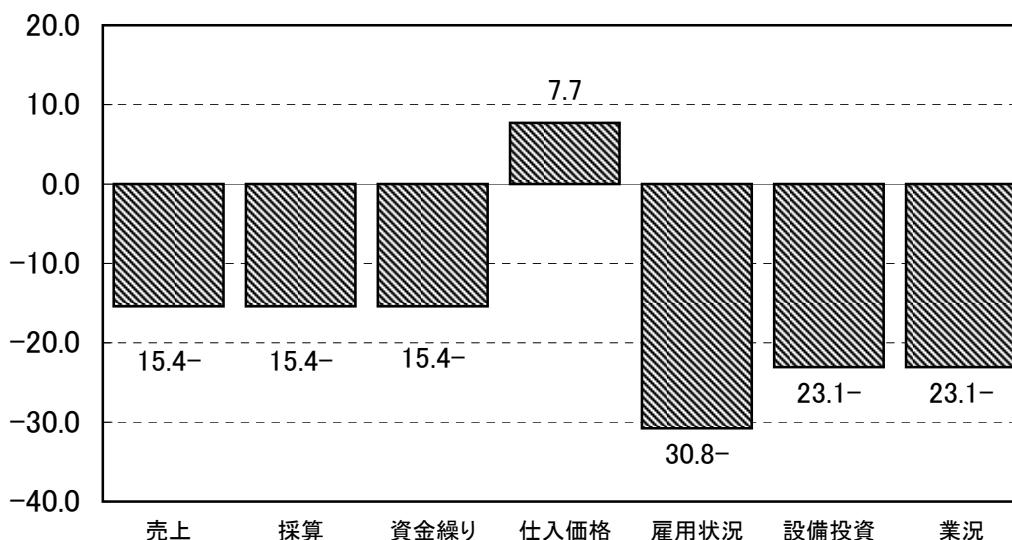
前期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともマイナス幅が改善した。「秋需と年末の需要による」(紙文具事務機卸)など一部で季節要因による売上増加の声は聞かれるものの、消費低迷による需要悪

前年同期比(平成20年10～12月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにマイナス幅が拡大した。依然として続く消費の低迷、更には販売価格の下落による影響で資金繰りが悪化しており、益々厳

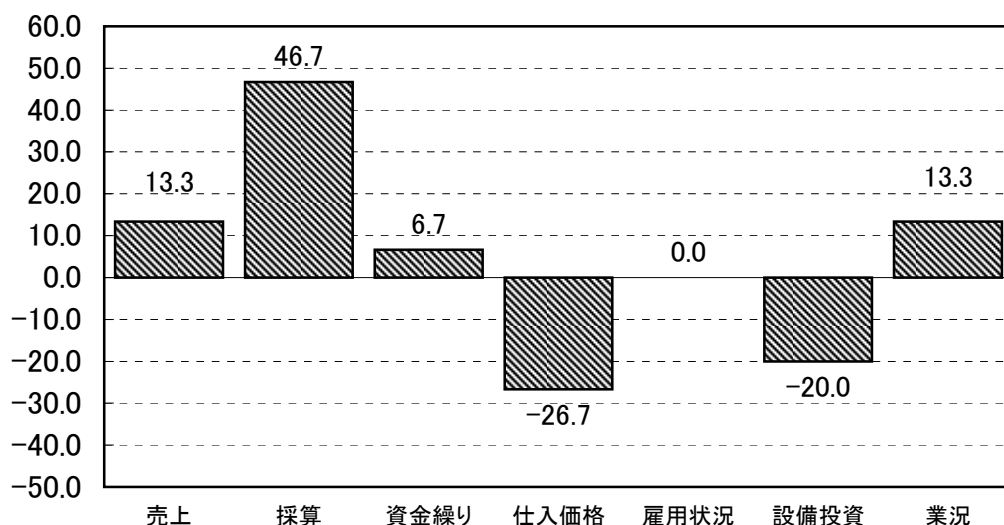
来期見通し(平成22年1～3月見通し)



来期見通しD Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにややマイナス幅が縮小された。年度末需要に期待が持たれるものの、依然として続く消費低迷が懸念され先行き不透明な

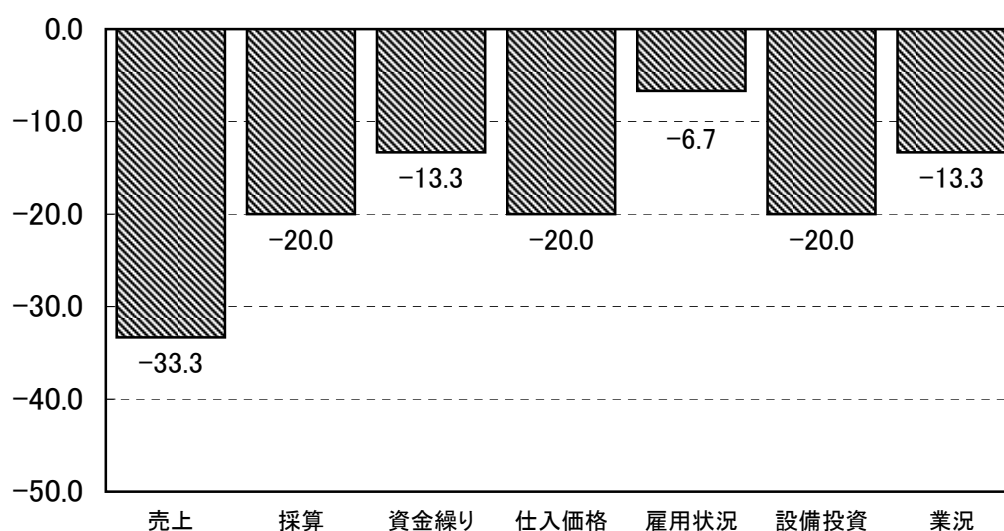
## (4) 小売業

前期比(平成21年7～9月比)



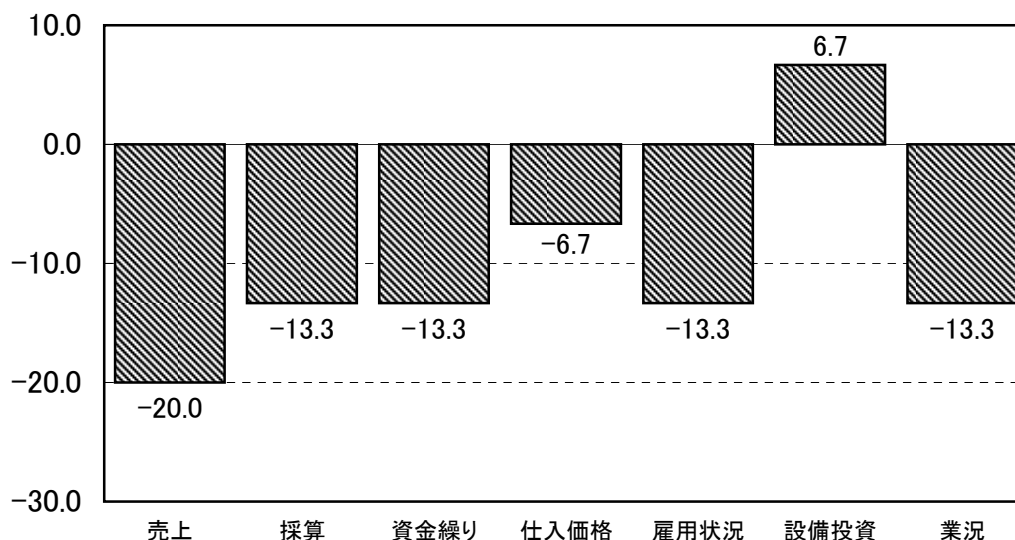
前期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともに好転した。年末需要による季節的要因、更には政府の景気対策などで改善が見られたものの、仕入価格の上昇・販売競争の激化など、厳しい経営環境は依然として続いており、本格的回

前年同期比(平成20年10～12月比)



前年同期比D Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにマイナス幅は縮小した。「減税、補助金支給による車の代替」(自動車販売)など一部で改善の声は聞かれるものの、消費の低迷・仕入価格の上昇などの影響で、依然

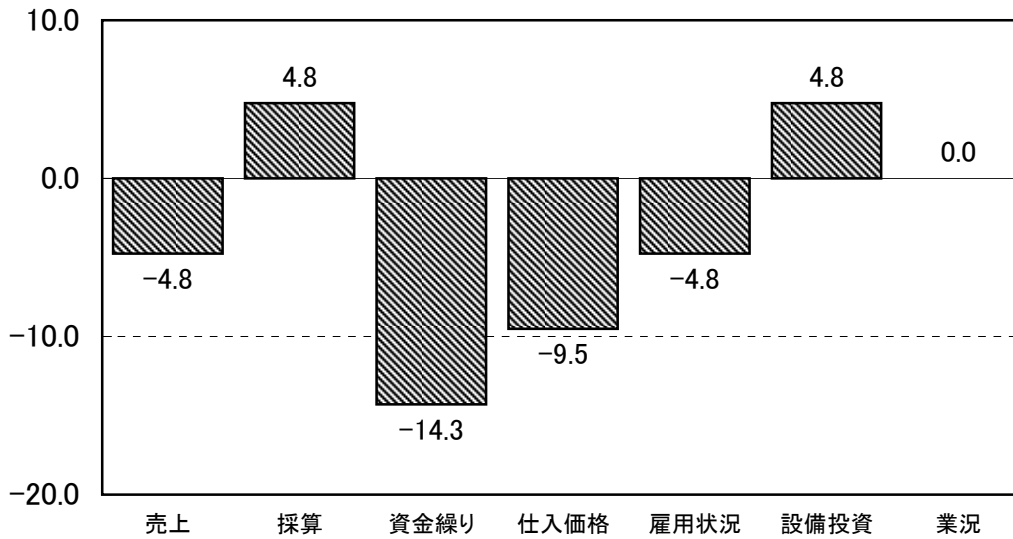
来期見通し(平成22年1～3月見通し)



来期見通しD Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにマイナス幅が拡大した。依然として続く消費の低迷、販売単価の悪化、仕入価格の上昇など経営環境のマイナス要因は払拭

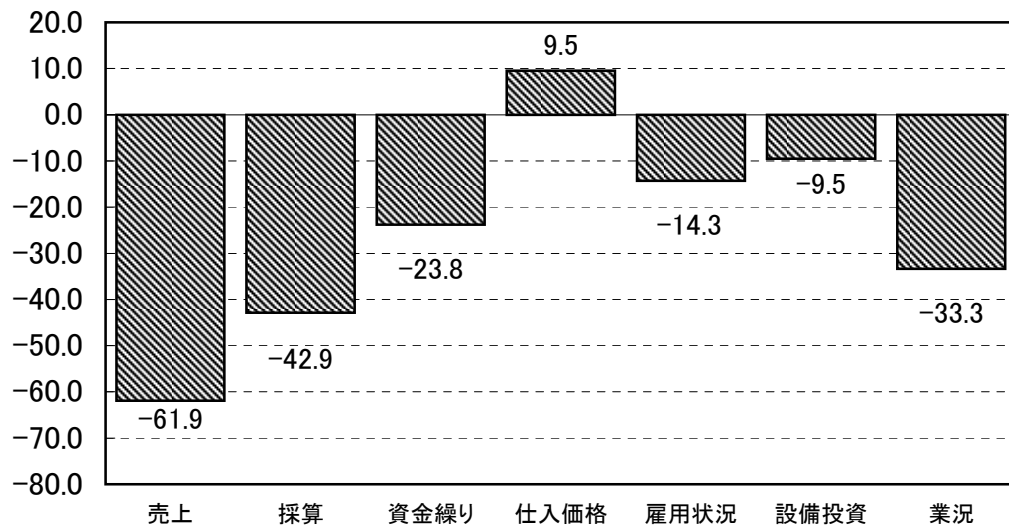
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成21年7~9月比)



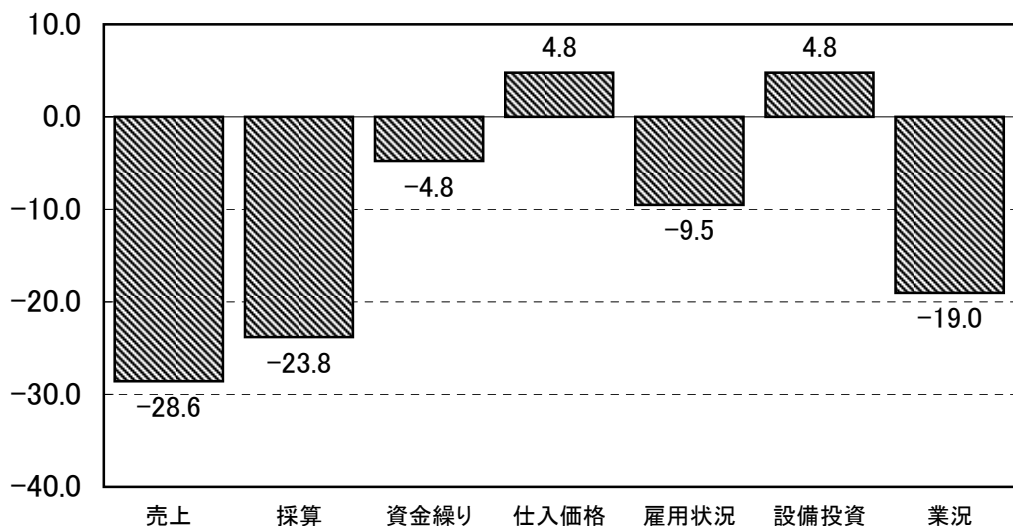
前期比D Iは、前回調査と比較して全項目で改善された。年末需要により好転の声が聞かれたものの、依然として続く消費の低迷で経営環境は本格的な改善には至っておらず、楽観は出来な

前年同期比(平成20年10~12月比)



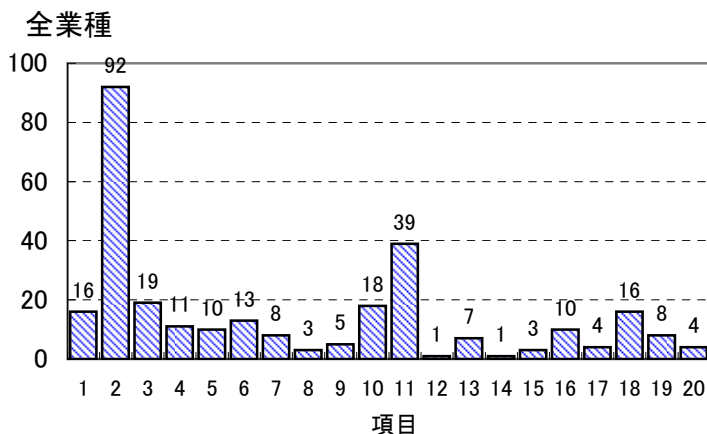
前年同月比D Iは、前回調査と比較して全項目で、ほぼ横ばいとなった。観光、飲食関連では、客数・客単価の悪化、広告関連には、企業の広告費削減などの影響で需要が悪化しており、業況は依然

来期見通し(平成22年1~3月見通し)



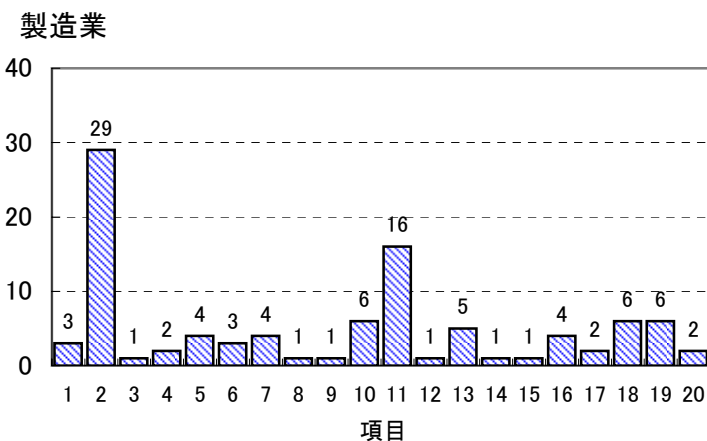
来期見通しD Iは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにマイナス幅が縮小した。年度末需要に期待が持たれるものの、消費低迷による需要の悪化が懸念され、先行きは不透明な

## 6. 経営上の問題点



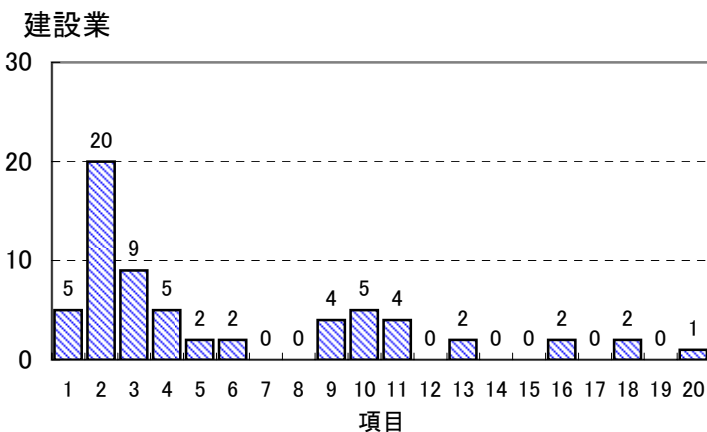
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 人件費の増加
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 人件費の増加
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 円高による海外製品との競争激化



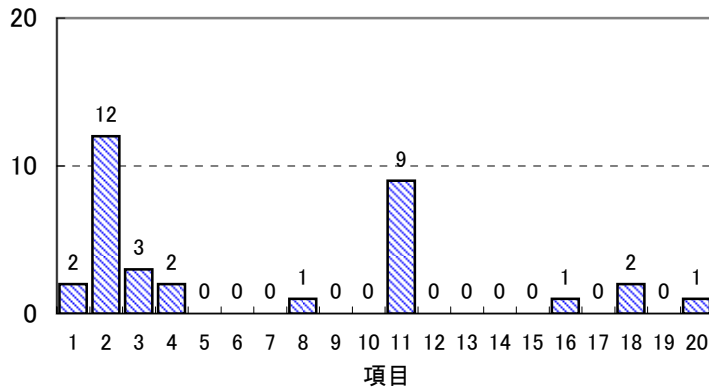
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 新規参入業者の増加
- 5位 人件費の増加

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

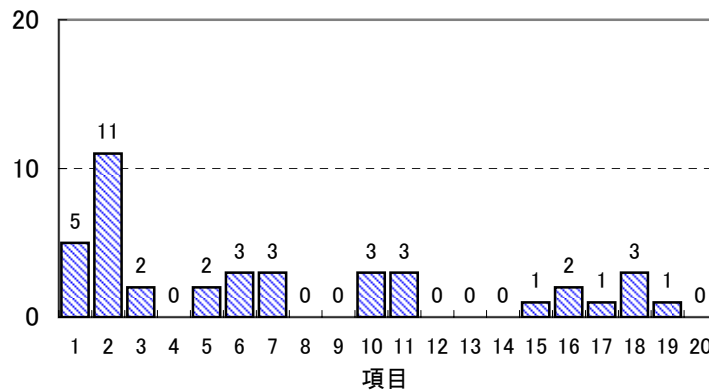
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 新規参入業者の増加

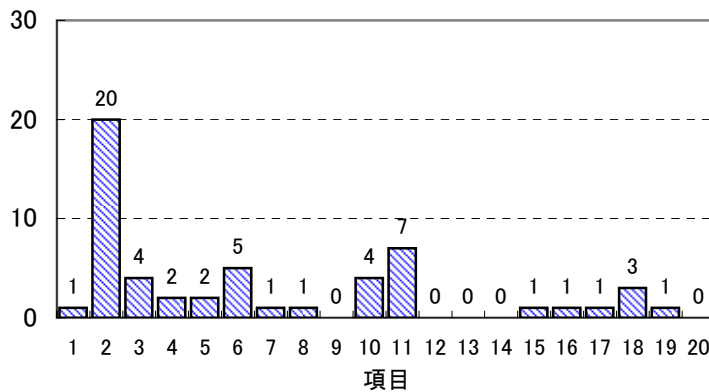
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 製品ニーズの変化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 人件費の増加

### サービス業



#### 順位

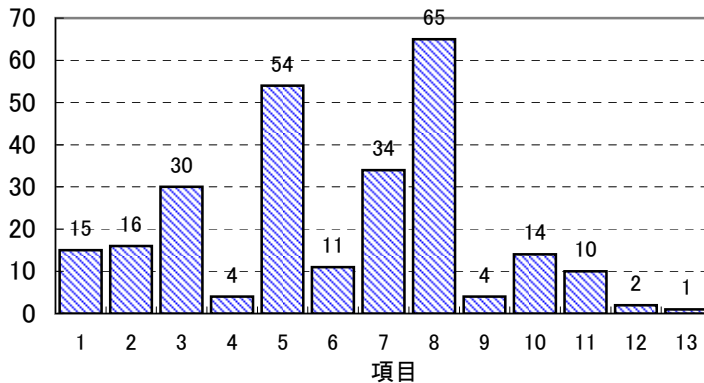
- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 製品ニーズの変化
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 人件費の増加

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

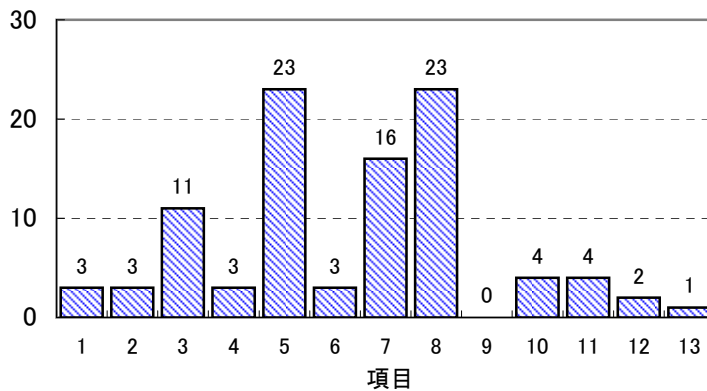
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 雇用調整を行いたい

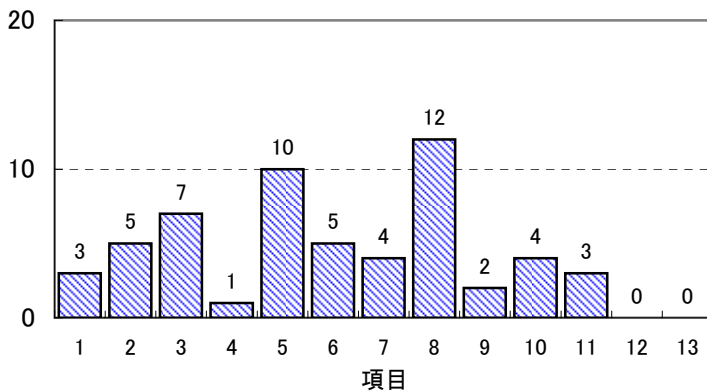
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



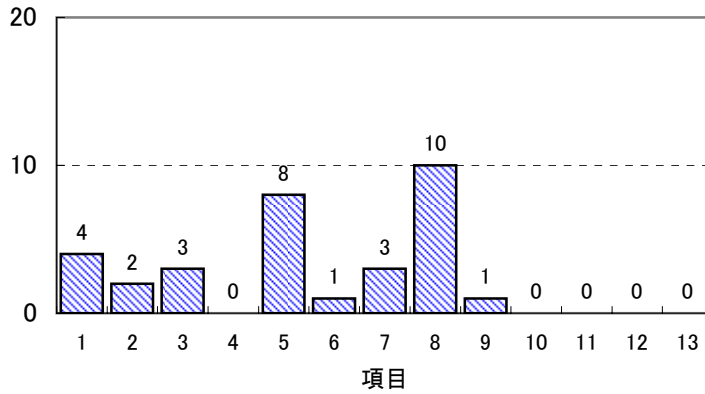
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 設備投資を縮小したい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             |                      |

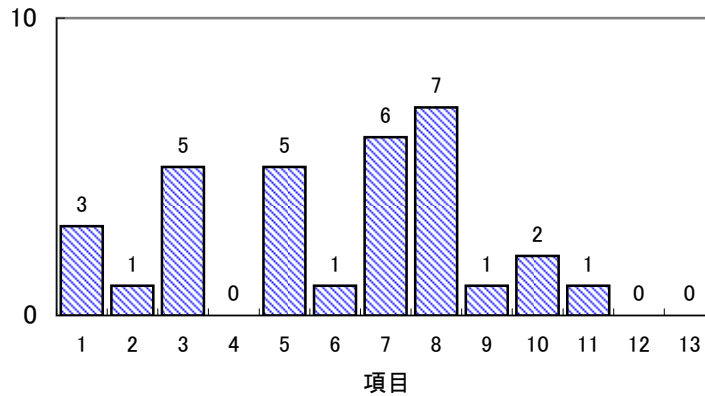
### 卸売業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

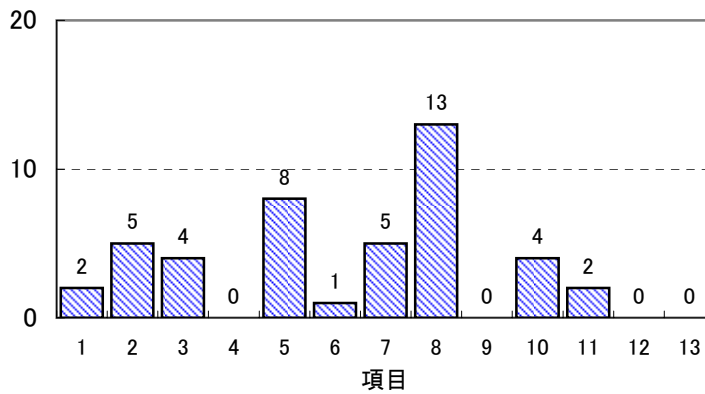
### 小売業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 新製品の開発を行いたい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

### サービス業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	食品製造販売飲食店	宮崎	労働法をもう少し考えてほしい。
製造業	IC生産(組立テスト検査)	宮崎	デフレ対策を早急にお願いします。
製造業	オイルシール	宮崎	目に見える景気対策を早急に実施して欲しい。
製造業	印刷業	宮崎	不況感の払拭。新規事業、将来を見据えた設備投資への援助等。
製造業	プラスチック金型製造修理	延岡	今後も円高傾向が続くと思われるが、資本力に乏しい中小にとってすぐ外需へという流れは難しい。企業努力はもちろん行うべきであるが、今後、国がどうむかうのか早く示して欲しい。
製造業	製材、集材	日南	住宅ローンの申し込みに対しての融資の緩和、建築関係に対して規制の緩和の見直し(大都市周辺と地方との差など)
製造業	金属加工業	日南	県の設備支援のうち、リース制度が悪くなりましたが、復活してほしい。
製造業	木材加工	日南	エコのムードを製品に反映させるような製品開発
製造業	自動車専用部品製造	日南	現状維持に努力しているが、客先からはコストダウンの要請が来ており、新しい展開をしないと、受注ができない可能性が出て来る。生産工程の合理化、雇用の調整をしないといけない場面がきそうです。助成金等の情報は早くほしい。よろしくお願いします。
製造業	焼酎製造販売	串間	「地産地消」宮崎焼酎の拡販にご協力支援をお願いします。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	公共事業の落札最低制限価額が90%に引き上げられたことに期待している。
建設業	管工事冷暖房設備	宮崎	一過性(子供手当etc)の政策でなく幅広く住民生活の安定を考えられる政策を
建設業	建設業	宮崎	都市と地方のインフラ整備の格差の是正
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	建設業(公共工事依存型)が、厳しいのはある程度理解できるが、倒産や廃業する少なく、淘汰されていない。経営状況が悪化していても休・廃業する事もできない状態ものとする。建設業(土方)しか仕事をしたことが無い技術者は土方しかできなく、許可を取得し、建設業をするしかない。PFIを土木インフラでも活用できるように内閣府委員会が会議を始めた。商工会議所でもPFIの仕組みや情報を発信して欲しい。文部科学省が学校耐震化にPFIの導入を推進していたが、これを含め宮崎県内にPFIを公共事業で導入していない。
建設業	看板製作業	日向	1,000万円以上からの消費税は、かなりの負担。正直、価格競争が規制なく続く限り、この不景気はすぐには止まらないような。輸入自由化(農作物)から、すでに少しづつおかしくなり始めていたと思う。消費ではなく、“生産”に税金を使って欲しいと思う。各自治体や地方も自分らがよければ(我田引水)では、絶対によくないはずがない。その場しのぎの対策など意味が無く思えます。
建設業	建設業	日向	入札等の設計価格を市場に合わせて設計する。
建設業	土木建設業	日南	公共工事の削減をやめてもらい、地方の公共工事を増やしてもらいたい。
建設業	建設業	日南	失業者への対策や、派遣切りの方々への対策も必要ですが、公共工事削減など失業を増やす政策でよいのでしょうか？無駄なものはいいけど必要なものを作ったり、補修して、公共工事が増えれば雇用も増加するのでは？
建設業	土木工事一式	串間	現在売上高が年々減少してきており、このままでは雇用の調整等(臨時パートに切り替える)をしなければ、経営の維持はできない。公共事業を増やして欲しい。
卸売業	食品卸売	日向	現在の経済対策は需要創造中心となっておりますが、その効果には疑問を感じます。もっと供給側(企業側)に立った成長戦略の政策立案を望みたいと考えます。
卸売業	建築資材販売	日向	ご覧の通りの時世です。何もありません。景気上昇を望むだけです。
卸売業	青果物卸	小林	デフレ克服と景気回復を望む。



小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	昨年末国会で議決された、中小企業等の支払延期の法律については銀行などはこれに対して腰が重いのではないかと。条件がむつかしく対応してもらえないのではないかと会議所が窓口となり背中を押す役目をして欲しくないかと全く中小企業援助にならないのではないかと。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	景気対策は雇用対策です。税金のばらまきではなく、国家大プロジェクトとして新しい雇用を生み出す産業に更に力を注いでほしい。①エネルギー②環境③住宅④福祉、特に③の住宅については超低金利貸付で(1%以下)もっと低価格で家も建てられ、ソーラーや燃料電池等を義務付ける…とか。
小売業	自動車販売整備	宮崎	低炭素社会を目指す「みやざきソーラーフロンティア構想」を積極的に推進してほしい。特にゼロエミッション車であるEVの普及のため、インフラの整備(クイックチャージの設置、住宅マンションのチャージ設置、EVへの代替を促進すべく、補助金支給を導入してほしい。
小売業	総合食料品スーパー	日向	大手企業による安売競争が商品単価の下落をつくり、その競争によりデフレスパイラル化している。
小売業	ガソリンスタンド	日南	企業収益を高めるため、特に地方にとっては公共事業にもっと力を入れ(景気浮揚)てほしい。そして、法人税率の引き下げを実施してほしい家計のテコ入れに前に企業にテコ入れをやってほしい。自民党政権を「ばらまき」と批判した民主党も結局「ばらまき」を変わらないのではないかと思う
サービス業	民間放送業	宮崎	2011年7月の地上デジタル放送完全移行。
サービス業	クリーニング業	延岡	事業存続のため、ありとあらゆる手段はとっているが、現在の景況では好転の見込が不透明である。どこも体力の限界が近いのでは？
サービス業	ホテル、飲食業	日向	デフレ不況を脱する為の政策・施策をもっとスピーディーにどんどんやって欲しい。
サービス業	運輸業	日向	現在は好況であるが、「コンクリートから人へ」になってくると、我々運送業者の出番が減少する(売上減)心配あり。